



花の木会館学習室 5月8日スタート

～花の木会館はこんな所～

平成4年10月、花の木会館は70周年記念事業の一環として竣工されました。建設当時は合宿所としての役割がメインであり、食堂や浴室、リネン室も完備されていました。しかしながら、近年の部活動のスタイルも様変わりし合宿をする部活もほとんどなく、近年は三者懇談会の会場に使用されたり、文化部の活動場所として使用されたりすることなどがほとんどでした。老朽化が進んだこともあり、30年の時を経て、昨年度（令和4年3月）にリニューアルされ、多目的ルームや学習室を備えた施設に改修されました。令和5年になり、夜遅くまで学習をしたい恵那校生のために管理人を引き受けていただく方が決まり、21：00まで開放する学習スペースが誕生しました。



玄関から入り左手に進んだところが学習室です。反対側の右手に進むと多目的室になっています。多目的室では会議などが行われることもありますが、ここでも学習することができます。かつての食堂にはまだ「里仁」の名前が残っていますが、コピー用紙に書かれた「多目的室」の表示には、何か初々しさを感じます。

多目的室

里 仁

運営開始、第1週目は生徒もまばらで、空席もたくさんある状況でしたが、しかし、黙々と学習する生徒の姿がありました。



運営開始第3週目の状況。学習室も多目的室も大勢の生徒が学習をしていました。



考査期間中ということもありますが、なにより学習に適した静かな環境と、とても座り心地の良い椅子がPTAにより設置されていて、長時間でも疲れを感じずに学習できます。令和の時代にふさわしくWi-Fiも完備されており、大学の入試情報などもすぐに手に入れます。



花の木会館 2階では部活動生徒も活動しています。



花の木会館が次の100年に向けて、新たな知と文化の拠点となるのではという期待が膨らみます。